



KONICA MINOLTA

ファックス・スキャン設定操作ガイド

もくじ

1 ファクス送信機能を使う

1.1	ファクス送信機能でできること	1-2
1.2	お使いになるために必要な作業	1-3
	モジュラーケーブルの接続を確認する	1-3
	発信者情報を登録する	1-3
	電話回線の種類を指定する	1-3
	本機の日時を設定する	1-4
1.3	宛先のショートカットを登録する	1-5
1.4	送信のしかた	1-6
	アドレス帳で宛先を指定して送信する	1-6
	ショートカット番号で宛先を指定して送信する	1-6
	ファクス番号の直接入力で宛先を指定して送信する	1-7

2 ファクス受信機能を使う

2.1	お使いになるために必要な作業	2-2
2.2	受信のしかた	2-3
	自動で受信する	2-3
	手動で受信する	2-3
	外付け電話機のダイヤル操作で受信する	2-3

3 PC-FAX 送信機能を使う

3.1	PC-FAX 送信機能でできること	3-2
3.2	必要なシステム環境	3-2
3.3	お使いになるために必要な作業	3-2
3.4	送信のしかた	3-3

4 スキャン送信機能を使う (E メール送信 /FTP 送信 / ネットワークフォルダ送信)

4.1	スキャン送信機能 (E メール送信 /FTP 送信 / ネットワークフォルダ送信) でできること	4-2
4.2	お使いになるために必要な作業	4-3
	LAN ケーブルの接続を確認する	4-3
	ネットワークの設定を確認する	4-3
	E-mail 送信の使用環境を設定する	4-3
	ネットワークフォルダ送信の使用環境を設定する	4-3
4.3	宛先のショートカットを登録する	4-4
	E メールの場合	4-4
	FTP の場合	4-6
	ネットワークフォルダの場合	4-7
4.4	送信のしかた	4-9
	アドレス帳で宛先を指定して送信する	4-9
	ショートカット番号で宛先を指定して送信する	4-10

5 索引

1

ファクス送信機能を使う

1 ファクス送信機能を使う

1.1 ファクス送信機能でできること

ファクスは、電話回線を使って、読み込んだ原稿（紙の原稿）の送信や送られてきたデータの受信を行う通信機能です。

本機には、ファクスに関するさまざまな機能が備わっており、原稿に合わせて読み込みの設定を変更したり、受信したファクスを他の宛先に転送したりすることができます。

1.2 お使いになるために必要な作業

モジュラーケーブルの接続を確認する

本機の LINE ポートに、電話回線に接続されたモジュラーケーブルが接続されていることを確認します。



参考

- モジュラーケーブルが接続されていない場合、FAX 回線未接続の警告メッセージが操作パネルの画面に表示されます。
- ファクス機能を使用しない場合は、本機の [設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [一般 FAX 設定] - [接続回線の検出を有効化] で [オフ] を選択し、OK を押します。

発信者情報を登録する

- 1 本機の [設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [一般 FAX 設定] - [FAX 名] を選択し、ファクスを送信するときに、発信者情報として印字する発信者の名前を入力して、OK を押します。
→ アルファベット、数字を入力してください。スペースは入力できません。
- 2 [一般 FAX 設定] の [FAX 番号] を選択し、本機のファクス番号を入力して、OK を押します。

参考

発信者名で全角カタカナを使用したい場合は、内蔵 Web サーバーで登録できます。内蔵 Web サーバーにアクセスするには、お使いのコンピューターの Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。[設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] をクリックし、発信者名を変更します。

電話回線の種類を指定する

- 本機の [設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [FAX 送信設定] - [ダイヤルモード] を選択し、使用環境の電話回線を指定して、OK を押します。
- プッシュ回線を使用している場合は、[トーン] を選びます。
- ダイヤル回線を使用している場合は、[パルス] を選びます。

本機の日時を設定する

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] を押します。
- 3 [設定] - [デバイス] - [日付 / 時刻] をクリックします。
- 4 必要に応じて、現在の日付、時刻を入力します。



- 5 [保存] をクリックします。



参考

時刻の設定に NTP (Network Time Protocol) サーバーをお使いの場合は、本機の日時を自動的に調整できます。[ネットワークタイムプロトコル] で NTP サーバーの設定を行ってください。

1.3 宛先のショートカットを登録する

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] を押します。
- 3 [ショートカット] - [ショートカットを追加] をクリックします。
- 4 [ショートカットタイプ] - [FAX] を選択します。
- 5 [ショートカット名]、[宛先] に、ショートカット名とファックス番号をそれぞれ入力します。
 - 複数のファックス番号をグループとして、1 つのショートカットに登録する場合は、各ファックス番号をセミコロン「;」(半角) で区切って入力します。
 - 操作パネルの表示文字数制限のため、ショートカット名を入力しても、すべての文字が表示されない場合があります。
 - ショートカットは約 500 件まで登録できます（登録内容により最大件数が異なります。[名前] が 25 文字、[番号] が 10 衔、[ショートカット] の番号が 4 衔の場合、500 件の登録が可能です）。



- 6 必要に応じて、ファックス送信のオプション設定をします。
- 7 [保存] をクリックします。



参考

登録済みのショートカットの設定内容を変更する場合は、必要に応じてプルダウンボックスで [FAX] を選択し、一覧から変更するショートカット名をクリックします。設定内容を変更して、[保存] をクリックします。



1.4 送信のしかた

アドレス帳で宛先を指定して送信する

- 1 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 2  または操作パネル画面の  (ショートカット) を押します。
- 3 [FAX] を選択し、 を押します。



- 4 宛先を指定し、 を押します。
- 5 必要に応じて、ファクス送信のオプション設定をします。
- 6  を押します。
送信が開始されます。
→ 原稿を原稿台にセットしている場合、原稿サイズを選択して、 を押します。
→ 宛先の指定をやり直したいときは、 を押します。

ショートカット番号で宛先を指定して送信する

- 1 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 2  を押し、テンキーで宛先のショートカット番号を入力して、 を押します。
- 3 必要に応じて、ファクス送信のオプション設定をします。
- 4  を押します。
送信が開始されます。
→ 原稿を原稿台にセットしている場合、原稿サイズを選択して、 を押します。
→ 宛先の指定をやり直したいときは、 を押します。

ファクス番号の直接入力で宛先を指定して送信する

- 1 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 2 [FAX] - [FAX 先] を選択し、ファクス番号を入力して、キーパッドの ▶ を押します。



- 3 もう一度ファクス番号を入力して、OK を押します。



この画面は、[設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [FAX 送信設定] - [管理者用設定] - [FAX 番号を確認] が「オン」(初期値) に設定されている場合に表示されます。

→ 続けてファクス番号を入力したい場合、キーパッドの ▶ を押して、手順 2 と 3 を繰返します。

- 4 必要に応じて、ファクス送信のオプション設定をします。
- 5 ◇ を押します。
送信が開始されます。
→ 原稿を原稿台にセットしている場合、原稿サイズを選択して、OK を押します。
→ 宛先の指定をやり直したいときは、X を押します。

2

ファクス受信機能を使う

2 ファクス受信機能を使う

2.1 お使いになるために必要な作業

ファクス受信機能をお使いになるために、以下の確認または設定が必要です。

- モジュラーケーブルの接続の確認
- 発信者情報の登録
- 電話回線の種類の指定

詳細については、1-3 ページをごらんください。

2.2 受信のしかた

自動で受信する

ファクスを受信したときに、本機が自動で受信を開始します。

ここでは、自動受信の設定手順を説明します。

- [設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [FAX 受信設定] - [管理者用設定] - [自動受信] で [オン] (初期値: [オン]) を選択し、[OK] を押します。
- [FAX 受信設定] の [呼び出し回数] を選択し、ファクスを受信してから通信を開始するまでの呼び出し回数を指定して、[OK] を押します。

参考

自動受信の設定は、内蔵 Web サーバーで行うこともできます。内蔵 Web サーバーにアクセスするには、お使いのコンピューターの Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。[設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [FAX 受信設定] をクリックし、[ファクス受信設定] の [自動呼び出し] を有効にし、[呼び出し回数] で呼び出し回数を入力して、[保存] をクリックします。

手動で受信する

ファクスを受信したときに通信を開始せず、本機のパネル操作により、手動で受信を開始します。

ここでは、手動受信の設定手順を説明します。

- [設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [一般 FAX 設定] - [手動 FAX を有効化] で [オン] を選択し、[OK] を押します。
- ファクスを受信したときに、操作パネルのキーパッドで、[#]、[0]、[OK] の順に押します。
- [FAX 受信開始] を選択すると、ファクス通信が開始されます。

外付け電話機のダイヤル操作で受信する

ファクスを受信したときに、外付けした電話機のダイヤル操作により、受信を開始します。

ここでは、外付け電話機のダイヤル操作の設定手順を説明します。

- 本機の外付け電話機用ポート (EXT) に、電話機を接続します。
→ ポートを使用するときは、プラグを取外してください。



- [設定] - [FAX] - [FAX 初期設定] - [アナログ FAX 設定] - [FAX 受信設定] - [管理者用設定] - [手動受信コード] を選択し、任意のダイヤルを入力して、[OK] を押します。
→ 初期値は「*9*」です。
→ 「0 ~ 9」、「#」、「*」が使用できます。
- ファクスを受信したときに、外付けした電話機の受話器を取り、登録したコードをダイヤルすると、ファクス通信が開始されます。

参考

電話機を外付けし、留守番電話を設定している場合は、留守番電話のメッセージが途中で途切れないように呼び出し回数を調整してください。

3

PC-FAX 送信機能を使う

3 PC-FAX 送信機能を使う

3.1 PC-FAX 送信機能でできること

一般的なファックスは、紙の原稿を送受信します。これに対し、PC-FAX 送信は、Windows コンピューター上の原稿データを、本機で印刷するような感覚でファックス送信します。

ファックスを送信するために紙の原稿を用意する必要がないので、電子化された原稿が多い環境での使用に向いています。

送信先は、本機に登録されている宛先を活用できます。また、コンピューターに電話帳を作成して、送信先を管理することもできます。

3.2 必要なシステム環境

PC-FAX 送信をお使いいただくためには、あらかじめコンピューターにファクスドライバーのインストールが必要です。

ファクスドライバーのインストール方法について詳しくは、「Drivers CD」のトップメニューにある「インストール手順」をごらんください。

3.3 お使いになるために必要な作業

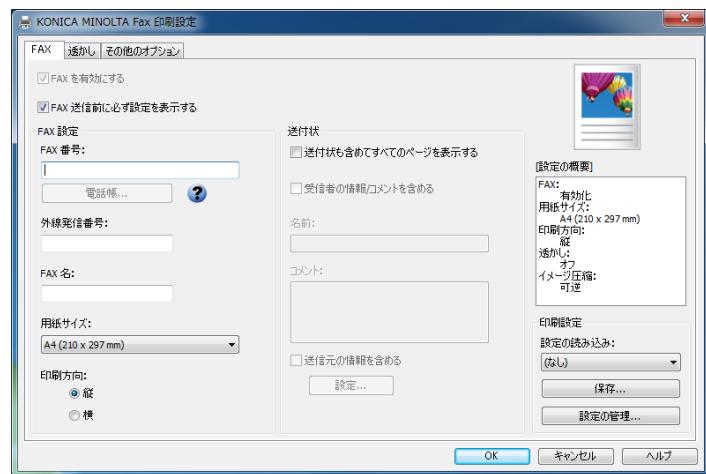
ファックス受信機能をお使いになるために、以下の確認または設定が必要です。

- モジュラーケーブルの接続の確認
- 発信者情報の登録
- 電話回線の種類の指定

詳細については、1-3 ページをごらんください。

3.4 送信のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、本機のファクスドライバーが選ばれていることを確認します。
- 3 送信するページ範囲を指定します。
- 4 [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックします。
- 5 [FAX を有効にする] にチェックがついていることを確認します。



- 6 [FAX 番号] に宛先のファクス番号を入力します。
 - 複数のファクス番号を指定する場合は、各ファクス番号をセミコロン「;」(半角) で区切って入力します。
 - 宛先のファクス番号を電話帳から指定する場合は、[電話帳] をクリックして、宛先を選択します。
- 7 必要に応じて、ファクス送信機能の設定や、送付状の追加をします。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [印刷] をクリックします。

10 必要に応じて、設定を追加、変更します。



11 [OK] をクリックします。

原稿データが本機を経由してファックス送信されます。

4

スキャン送信機能を使う (E メール送信 /FTP 送信 / ネットワークフォルダ送信)

4 スキャン送信機能を使う（E メール送信 /FTP 送信 / ネットワークフォルダ送信）

4.1 スキャン送信機能（E メール送信 /FTP 送信 / ネットワークフォルダ送信）でできること

本機で読み込んだ原稿データは、コンピューターやサーバーへ送信できます。

スキャン送信機能には、E メール送信、FTP 送信、ネットワークフォルダ送信があります。

機能	説明
E メール送信	変換したファイルを E メールに添付して、任意のメールアドレスに送信します。
FTP 送信	変換したファイルを FTP サーバーへ送信します。 FTP サーバーを通じてファイルの受渡しをするときに便利です。
ネットワークフォルダ送信	変換したファイルをネットワークコンピューターやサーバーの共有フォルダへ送信します。

4.2 お使いになるために必要な作業

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。



ネットワークの設定を確認する

本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。本機の [レポート] - [ネットワーク] - [ネットワーク設定] を選択してレポートを印刷し、IP アドレスが表示されていることを確認します。

E-mail 送信の使用環境を設定する

E-mail 送信機能を使用する場合、E-mail 送信に使うメールサーバーと、管理者のメールアドレスを登録します。

- 1 本機の [設定] - [E メール] - [E メール設定] - [プライマリ SMTP ゲートウェイ] を選択し、SMTP サーバーアドレス（メールサーバーのアドレス）を入力して、[OK] を押します。
- 2 [E メール設定] の [返信アドレス] を選択し、管理者のメールアドレスを入力して、[OK] を押します。
- 3 必要に応じて、[E メール設定] で、SMTP サーバーのオプション設定をします。



参考

SMTP サーバーのアドレスが設定されるまで、ホーム画面に「SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

ネットワークフォルダ送信の使用環境を設定する

DNS を使用して、コンピューターのホスト名を IP アドレスに変換できるように設定します。

- 本機の [設定] - [ネットワーク / ポート] - [TCP/IP] - [DNS を使用してホスト名を解決する] がオン（初期値：オン）に設定されていることを確認します。

4.3 宛先のショートカットを登録する

Eメールの場合

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] を押します。
- 3 [ショートカット] - [ショートカットを追加] をクリックします。
- 4 [ショートカットタイプ] - [Eメール] を選択します。
- 5 [ショートカット名]、[宛先] に、ショートカット名と Eメールアドレスをそれぞれ入力します。
 - 複数の Eメールアドレスを 1 つのショートカットに登録する場合は、各 Eメールアドレスをカンマ「,」(半角) で区切って入力します。
 - 操作パネルの表示文字数制限のため、ショートカット名を入力しても、すべての文字が表示されない場合があります。



- 6 必要に応じて、Eメール送信のオプション設定をします。
- 7 [保存] をクリックします。



参考

登録済みのショートカットの設定内容を変更する場合は、必要に応じてプルダウンボックスで[Eメール]を選択し、一覧から変更するショートカット名をクリックします。設定内容を変更して、[保存]をクリックします。



FTP の場合

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] を押します。
- 3 [ショートカット] - [ショートカットを追加] をクリックします。
- 4 [ショートカットタイプ] - [FTP] を選択します。
- 5 [ショートカット名]、[アドレス] に、ショートカット名と FTP サーバーの IP アドレスをそれぞれ入力します。
 → 例) 192.168.1.100/ftp
 → 例) ホスト名の場合 : Network-PC/ftp
 → 操作パネルの表示文字数制限のため、ショートカット名を入力しても、すべての文字が表示されない場合があります。
 → 認証情報が必要な場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードが不明な場合は、システム管理者に確認してください。



- 6 必要に応じて、FTP 送信のオプション設定をします。

- 7 [保存] をクリックします。



参考

登録済みのショートカットの設定内容を変更する場合は、必要に応じてプルダウンボックスで [FTP] を選択し、一覧から変更するショートカット名をクリックします。設定内容を変更して、[保存] をクリックします。



ネットワークフォルダの場合

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] を押します。
- 3 [ショートカット] - [ショートカットを追加] をクリックします。
- 4 [ショートカットタイプ] - [ネットワークフォルダ] を選択します。
- 5 [ショートカット名]、[共有パス] に、ショートカット名とネットワークコンピューターの共有フォルダのパスをそれぞれ入力します。
 - 例) IP アドレスの場合 : 192.168.1.100/smb
 - 例) ホスト名の場合 : Network-PC/smb
 - 共有フォルダにアクセス権が設定されている場合、[認証を有効にします] をオンに設定し、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードが不明な場合は、システム管理者に確認してください。



- 6 [ファイルパス] にファイル名の先頭に追加する任意の文字を入力します。
- 7 必要に応じて、ネットワークフォルダ送信のオプション設定をします。
- 8 [保存] をクリックします。



参考

登録済みのショートカットの設定内容を変更する場合は、必要に応じてプルダウンボックスで【ネットワークフォルダ】を選択し、一覧から変更するショートカット名をクリックします。設定内容を変更して、【保存】をクリックします。



4.4 送信のしかた

アドレス帳で宛先を指定して送信する

- 1 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 2  または操作パネル画面の  (ショートカット) を押します。
- 3 [E メール]、[FTP]、[スキャンしてネットワークに送信] のいずれかを選択し、 を押します。



- 4 宛先を指定し、 または  を押します。

送信が開始されます。

- 原稿を原稿台にセットしている場合、原稿サイズを選択して、 を押します。
- 宛先の指定をやり直したいときは、 を押します。



参考

スキャン送信のオプション設定は、内蔵 Web サーバーで変更できます。内蔵 Web サーバーにアクセスするには、お使いのコンピューターの Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。[ショートカット] をクリックし、必要に応じてショートカットタイプを選択します。一覧から変更するショートカット名をクリックし、設定内容を変更して、[保存] をクリックします。



ショートカット番号で宛先を指定して送信する

- 1 原稿を ADF または原稿台にセットします。
- 2 **[#]** を押し、テンキーで宛先のショートカット番号を入力して、**[OK]** を押します。
送信が開始されます。
 - 原稿を原稿台にセットしている場合、原稿サイズを選択して、**[OK]** を押します。
 - 宛先の指定をやり直したいときは、**[X]** を押します。



参考

スキャン送信のオプション設定は、内蔵 Web サーバーで変更できます。内蔵 Web サーバーにアクセスするには、お使いのコンピューターの Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。[ショートカット] をクリックし、必要に応じてショートカットタイプを選択します。一覧から変更するショートカット名をクリックし、設定内容を変更して、[保存] をクリックします。



5 索引



5 索引

P

PC-FAX 送信機能	3-2
送信のしかた	3-3
必要なシステム環境	3-2

さ行

スキャン送信機能 (E メール送信 /FTP 送信 / ネットワークフォルダ送信)	4-2
宛先のショートカット	4-4
お使いになるために必要な作業	4-3
送信のしかた	4-9

は行

ファクス受信機能	2-2
お使いになるために必要な作業	2-2, 3-2
受信のしかた	2-3
ファクス送信機能	1-2
宛先のショートカット	1-5
お使いになるために必要な作業	1-3
送信のしかた	1-6



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ジャパン株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社